

県内経済の最前線学ぶ

武生東高 本紙担当記者が講演



武生東高は10日、新聞を活用したキャリア講座を開いた。経済学部への進学を希望する生徒ら約60人が福井新聞社の吉川良治記者の話に耳を傾け、県内企業の取り組みに理解を深めた。

同校は、学校の授業などで新聞を活用するNIE実践指定校。生徒の職業観を育もうと講座を開いた。

吉川記者は、県内企業などが打ち上げを目指している県民衛星や北陸新幹線敦賀開業に伴う再開発などを説明。県民衛星



記者の話を聞き、県内企業の取り組みに理解を深める生徒＝10日、越前市の武生東高

については、アンテナや電子回路などに各企業の最先端の技術が用いられる予定とし、「福井県は衛星の製造拠点になることを目指している。すこ

く夢のある話。興味のある人は福井の企業に入って宇宙産業に携わってみては」と呼び掛けた。生

徒からは、全国と比べた福井県の衛星開発のレベルなどに関する質問が出た。

ドラッグストアの業界をまとめた本紙の連載企画についても触れ、「商品がたくさんあって低価格」と支持される理由を説明。県外大手の進出によってシェア争いが激しくなっているとした。

(藪内弘昌)